

[特集]

動き出す入試改革～

# “多面的評価”の 第一歩

1点刻みの教科学力試験のみ、  
あるいは学力不問の推薦・AOという従来の入試を脱し、  
学力を多面的・総合的に評価する入試へと転換するための  
具体的検討が本格的に始まった。

明治以来の教育の抜本的な転換を図るといふ高大接続改革の本質とは何か。  
各大学は、この大きな流れをいかに泳ぎ切り、  
自学の課題解決を果たすべきか。  
行政主導にしない主体的な判断と選択、攻めの改革が求められている。

高大接続改革の動きについては、下記URLの進研アドのサイトでも  
継続的に情報を発信します。  
<http://shinken-ad.co.jp/>



対談

改革の理念とは  
→ p.4

文部科学大臣 **下村 博文氏** × (株)進研アド代表取締役社長 **川目 俊哉**

考察

答申・プランの  
読み解きと考察  
→ p.8

アドミッション・  
オフィスの整備

APと入試の  
整合性

教科学力試験の  
問い直し

教科学力以外の  
力の評価

調査書の見直し・  
活用

多様な学生の  
受け入れ

既存入試の  
効果検証

...

オピニオン

アメリカの学生選抜とその体制  
横浜市立大学  
出光 直樹氏 → p.11

アドミッション・  
オフィスの整備

調査書の見直し・  
活用

視点

東京大学「推薦入試」  
京都大学「特色入試」  
(株)ベネッセコーポレーション  
村山 和生氏 → p.14

教科学力以外の  
力の評価

多様な学生の  
受け入れ

事例

早稲田大学  
入試担当組織の整備等、中期的な改革 → p.16

アドミッション・  
オフィスの整備

多様な学生の  
受け入れ

事例

追手門学院大学  
「アサーティブ入試」 → p.19

アドミッション・  
オフィスの整備

教科学力試験の  
問い直し

事例

お茶の水女子大学  
「新フンボルト入試」 → p.22

APと入試の  
整合性

教科学力以外の  
力の評価